

広報

# あしや

1993年(平成5年)9月1日号

No.642

毎月1日・15日発行

発行／芦屋市役所(広報課)

☎0797-31-2121

〒659 兵庫県芦屋市精道町7番6号

芦屋市の人口と面積

(平成5年8月1日推計人口)

人口総数 87,324 世帯数 33,742

男 40,798 面積 17.31km<sup>2</sup>

女 46,526



監修／大森一樹(映画監督) 撮影／山口 宏(写真家)

さわやかぱーとな  
2/88,000

## 黒帯の青春

市立芦屋高等学校空手部女子

ひさやす みき  
壽安 美紀さん(左)

岩園町在住

かたやま れいこ  
片山 令子さん(中央)

宮塚町在住

なかむら かえ  
中村 香栄さん(右)

新浜町在住

阪急「芦屋川」駅から北々東へ、坂道を登りつめると市立芦屋高校です。樹木が伸びやかに枝を広げ、緑の回廊が玄関まで続きます。

女子高校生の空手部員ということから、体格のよい男っぽい感じをイメージしていましたが、空手衣をつけていないと、細つそりと静かで落ち着きのある高校生です。自分から進んで入部したのではなく、先輩に無理やり誘われて…という消極的な入部です。練習の厳しさは覚悟以上のものでしたから、片山さんは

「黒帯が締められる初段までは」と気持を奮い立たせ、中村さんは

「組手が好きになつてから、苦しい練習に耐えられるようになります」と言い切りました。

また、何か運動部を続けたくて入部した壽安さんは、部員数が少ない中でも二年間空手部を続けました。

礼に始まり礼に終わる空手道も競技として

『型』では正しい基本にどれだけ近付き、どれだけきれいに演武できるかを競い

『組手』では、強さ、素早さ、しゅんぱつ力を競います。

三人は昨年十一月に揃つて待望の初段となり黒帯を締め、その時から上段を意識しはじめました。昨年、県ジニア大会個人型で壽安さんが三位に、今年の高校総体空手道大会団体型で五位に入りました。子供のころから道場に通い鍛え上げた選手達の中での快挙です。短期間の練習しかしていないという大きなプレッシャーの中で、団体競技を終えた瞬間、彼女達の胸中をよぎった思いは、自分の非力で二人に迷惑をかけたのではないかという反省だったそうです。

女子空手部員が一名となる後輩を気づかいながら

「ここまで頑張ったのです。最高です」裏方を勤め上げた庄田佳世マネージャーの称賛!

「小さなクラブで短期間にこれだけ成果を上げられたのは、自主的な練習と努力の積み重ねです」

顧問の先生の信頼もまた彼女たちを成長させました。卒業後も空手を続ける彼女たちに、惜しみない拍手を送ります。











